

# 日本語学習支援と文化理解を学ぶ市民講座

## —多文化共生の地域づくりをめざして—

この講座では、日本語学習支援や文化理解を深める方法を学ぶことで、地域に住む外国人との交流やコミュニケーションについて考えます。

講義だけではなく、ワークショップ、事例の検討など、さまざまな方法で学びます♪



### 日 程

2018年12月15日(土)～2019年1月26日(土)のうち **土曜日全5回**

### 対 象

越谷市内で、外国人支援や日本語ボランティア、外国人との市民活動を行なっている方や興味がある方。全5回全ての講座に出席できる方。

### 参加費

無料（要事前申込・定員30名・12月10日までの先着順）※申込方法については裏面へ！

### 日時・場所・内容・講師

12月15日(土) 13:00～16:30 越谷市中央市民会館5階 第2・3会議室

#### 第

①

#### 学習者の背景理解

日本社会における外国人や日本語教育の状況はどうなっているのでしょうか。データを元に、現状について概観します。

神吉 宇一 氏

回

#### 文化とは、多文化とは、多文化共生とは

人間はなぜ文化をつくり出すのでしょうか。  
ワークショップを交えつつ、自分・他者と出会う中で、文化・多文化・多文化共生について考えます。

山西 優二 氏

#### 第

②

#### 相互理解と学習支援のためのコミュニケーションの基礎

日本語でのやりとりに慣れていない外国人と相互理解を図るため、また、適切な学習支援を行うためには、コミュニケーションに工夫が要ります。話し手・聞き手としての基礎「やさしい日本語」と「聴く・待つ」方法を演習で学びます。

萬浪 絵理 氏・西山 陽子 氏

#### 第

③

#### 市民活動としての学習支援の方法とコミュニケーションのための日本語の特徴

「日本語ができるようになりたい」という思いを持った人が教室に来た時、地域ボランティアとしてできる活動はどんなものでしょうか。役立つ素材には何があるのでしょうか。活動の例を体験しながら探りましょう。対話活動をしながら、日本語の構造の特徴についても確認します。

矢部 まゆみ 氏

#### 第

④

#### 地域日本語教室の実践

多様な人々が集まり、共に活動する「地域日本語教室」では、実際にどんな活動が行われているのでしょうか。「教室」はどんな課題を抱え、どのようにその課題を解決しようとしているのでしょうか。いくつかの「教室」の実践から、「学習支援」や「相互理解」について、一緒に考えてみましょう。

矢崎 理恵 氏

#### 第

⑤

#### コミュニケーション・相互理解・日本語学習支援

コミュニケーションを通して相互理解を深めたり、日本語学習支援を行ったりするには、どのような取り組みをすればよいのでしょうか。5回の研修のまとめとして、外国人との実際のコミュニケーションを通して、活動のあり方を体験的に学びます。

神吉 宇一 氏

1月26日(土) 13:30～16:30 越谷市役所本庁舎5階 第一委員会室

## 特定非営利活動法人 国際活動市民中心(CINGA)とは

多言語・多文化にかかわる専門家（弁護士や医師、大学教員や日本語教師など）が集い、自らの専門性を活かし市民活動を行うネットワーク組織です。外国人にとって住みやすい日本社会構築をめざすとともに、日本人市民の多文化共生意識を構成することを目的として2004年から活動しています。

### 留意事項

- ①本講座は、「CINGA 日本語学習支援者に対する研修カリキュラム開発事業」として、文化庁よりCINGAが受託した事業です。カリキュラムの有効性検証を目的として、講座の様子を録音・録画する場合があります。また、講座内でのアンケートや振り返りを検証データとして収集します。データは個人が特定されない形で文化庁に提出するとともに、研究会等での発表に使用する可能性があります。参加は上記をご了承いただける方に限ります。
- ②本講座では、ご自宅のパソコンを使ったeラーニングを試験的に組み合わせます。内容は学習内容に関する簡単な自己確認問題や参考資料の閲覧などです。ご協力くださる方は、講座申し込みの際にお申し出ください。



### 講師プロフィール

#### 神吉 宇一

武蔵野大学大学院言語文化研究科准教授

社会人のキャリアのスタートは小学校教師、その後さまざまな仕事を経て、2013年より大学教員に。2016年より現職。外国人が増加する日本社会において、安定した社会の構築と人々がより平和で幸せに生きていける地域づくりに興味がある。日本語教育学会副会長、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会委員等。

#### 山西 優二

早稲田大学文学学術院教授、日本国際理解教育学会理事、かながわ開発教育センター代表理事、など。

NGOの立場から開発教育や人権教育に携わる。30数年にわたって、地域、アート、ことば、難民といった切り口から、平和・公正・共生の文化づくりとそのための学びづくりに携わってきている。「多文化共生・文化理解」では、文化とは何か、自分の文化と出会うことの大切さ、について考えたいと思います。

#### 萬浪 絵理

千葉市国際交流協会委嘱 日本語教育コーディネーター

20年の日本語教師生活で日本語教育機関に足りないと感じていたものを、市民参加の地域日本語教室に見出す。現在は日本語学習支援事業の企画と運営を担当し、相互理解と日本語学習の両立をめざした対話活動を模索中。少しのコツと工夫で、日本語活動の楽しさと意義はぐっと増す、と考えています。

#### 西山 陽子

横浜国立大学非常勤講師他

地域日本語教室での日本語ボランティア経験を経て、現職に就く。留学生、技術研修生、難民、EPA介護福祉士候補者、定住者など様々な人が日本語を学ぶ場に携わる中で、様々な人や様々な日本語を受けとめ共に楽しむ場づくりに興味を持つようになりました。手の届く範囲でできることをしていけたらと思っています。

#### 矢部 まゆみ

横浜国立大学非常勤講師、明治学院大学非常勤講師他

専門は日本語教育、多文化共生教育。オーストラリアの中学高校で多言語・多文化教育としての日本語教育に携わった際に、隣人として地域の人々に支えてもらった経験から、多様な人々がつながり支え合い自分らしく力を発揮していけるまちづくりを願い、そのためにできることを探っています。

#### 矢崎 理恵

社会福祉法人さぼうと21 学習支援室コーディネーター

大学卒業と同時に青年海外協力隊に参加し、日本語教師のキャリアをスタートさせる。現在は日本に暮らす（帰国の選択肢の少ない）難民の方々の、自立支援の活動に携わっている。「学習者もボランティアも、どうしたら「本領発揮」できるだろうか。そのために私は何ができるだろう」と考える日々を過ごしています。

12月10日（月）までに電話かメールで以下へお申込ください

越谷市 市民協働部 市民活動支援課（国際化担当）

☎： 048-963-9114 【月～金曜日 8:30～17:15】

E-mail: shikatsu@city.koshigaya.lg.jp

① 氏名

② 活動経験

③ 電話番号

④ 受講動機

⑤ eラーニング

の受講希望